

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和2年度期末）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	コロナ禍において活動が制限される中、「チイキ鍋」や女性ミーティングなど、「つながり」を意識した取り組みが実施できている。また、「3つの50」など、コロナ禍において、地域が今後の変化に応じて柔軟に対応できる基礎となる取り組みを工夫を凝らして行っており、高く評価できる。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	昨年度同様、専門知識を持つスーパーバイザーによる多角的な支援を行う体制が整っている。また、区との定期的な打合せにより情報共有ができており、めざす目標に対して認識の共有が図れており非常に評価できる。

3 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
A	利用者アンケート調査では、目標数値を達成しており、地域活動協議会の構成団体からの信頼関係を築くことができている。 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組み（イメージ）については、「自律的な実施をめざす発展的な事項」を全項目達成しているのは4地域。19地域中15地域で80%以上の達成率となっている。各項目の達成状況は向上しており、非常に高く評価できる。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
A	今年度は、コロナ禍という状況で、これまでどおりの活動ができなくなっている中、工夫を凝らして多種多様なアイデアを地域に示すことができている。支援内容に関しては、地域活動協議会が中間支援の役割をになっていけるような支援メニューを組み立て、今後の変化に柔軟に対応できるよう取り組んでいることは非常に高く評価できる。 支援体制に関しても、課題解決に向けて多角的に対応できるような人材を整えており、地域からの様々な要望に対応できる体制となっている。

（評価基準）

- S：当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
 A：当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
 B：当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
 C：当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。